

<北海道帯広市>

マルシェ機能付車両による路線バスの収益多角化

実施主体：十勝・帯広新モビリティ検討協議会（仮）
（代表企業：十勝バス株式会社）

交通結節点である帯広駅から郊外の住宅地である大空団地までの区間を対象に、車両改造を行い**マルシェ機能を付与した路線バスの運行**を行い、**交通事業者の収益多角化・事業性改善効果、住民の受容性の検証**を行う。

実証実験のサービスイメージ

遊休車両を改造したマルシェ機能付き路線バスの運行



■狙い

・徒歩圏に住民の生活の質を向上するサービスを提供

■料金に関する考え方

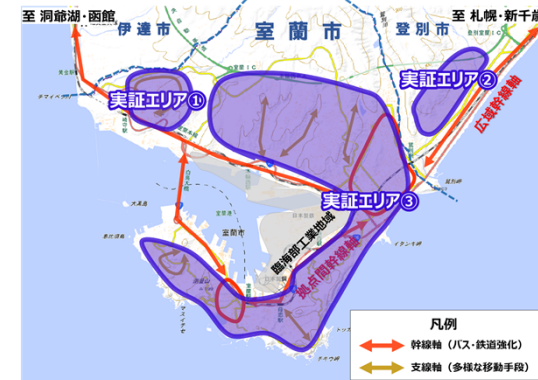
- ・路線バス運行時の乗客は通常の運賃を支払う。
- ・商品販売の売り上げは店舗運営事業者が得る。契約に応じて売上金額の数%十勝バスに支払い。
- ・店舗運営事業者は十勝バスに、基本利用料金（車両使用料、ガソリン代、運転手・販売補助員人件費など）を支払う。

<北海道室蘭市>

需要・供給双方に働きかけたサービス水準探索

実施主体：公益財団法人室蘭テクノセンター 等

公共交通サービスが限定的なエリアにおいて、需要側・供給側の双方にとって受容・持続可能なオンデマンド交通・相乗りタクシーのサービス水準（料金・乗降スポット等）を導出するため、**事前や実証期間中のヒアリング等を通じたサービス水準の設定・更新**と、それを**アジャイルにサービスに組み込めるシステムの構築**に取り組む。



今年度の実証実験イメージ

